

■北原白秋 詩人、歌人。私生活で苦悩しながら、創作童謡・民謡に新時代を画し、短歌では“近代の幽玄体”を確立。

きたはらはくしゅう

内閣発足・・・1885＝ 福岡県柳川の沖端の海産物問屋の生れ(実際は熊本県玉名郡生れ)。

帝国憲法発布1889＝ 4歳：

キリシタンや南蛮文化など、異国情緒豊かな水郷柳川の恵まれた環境で幼少期を過ごし、

日清戦争始・1894＝ 9歳：

八幡製鉄始・1897＝12歳：二級飛び越えて県立伝習館中学校に入学するが、

Bushidou・・・1899＝14歳：落第して文学を志す。

田中正造直訴1901＝16歳：大火で類焼し、家産が傾く。回覧誌で白秋の号を用いる。

教科書疑獄・1902＝17歳：(福岡日々新聞)や(文庫)に投稿短歌が掲載され、頭角を著し、休学。

日比谷公園・1903＝18歳：復学するが、新聞や回覧誌の発行が問題化。

日露戦争始・1904＝19歳：\*(文庫)の誌面が提供され、退学して、上京、早稲田大学英文科予科に入学。牧水、善磨と同級。

日露戦争終・1905＝20歳：長編詩「全都覚醒賦」が(早稲田学報)の懸賞で一等。

満鉄発足・・・1906＝21歳：鉄幹の招きで新詩社に入り、詩、短歌を発表して(明星)新人の筆頭となる。早大英文科中退。

アヲキ創刊・1908＝23歳：\*象徴詩「謀反」を(新思潮)に発表、新詩社を脱退。吉井勇、木下杢太郎らと新詩社を脱退して(パンの会)創立に参加、耽美派文学の拠点となる。

伊藤博文暗殺1909＝24歳：(スバル)創刊に参加。第1詩集「邪宗門」出版。(屋上庭園)を創刊するが、発禁となる。

韓国併合・・・1910＝25歳：「思ひ出」の詩や「桐の花」の歌づくり。

大逆事件判決1911＝26歳：抒情小曲集「思ひ出」を発売、上田敏に激賞される。(朱槿)創刊。

明治天皇没・1912＝27歳：松本俊子との苦恋絶頂に達し、告訴により一時拘留されるが、無罪免訴となる。

第一次大戦始1914＝29歳：俊子と結婚。生家が破産する。\*最初の歌集「桐の花」と第3詩集「東京景物詩及其他」を上梓。

21ヶ条要求・1915＝30歳：貧窮と苦悩のうちにたびたび転居、俊子と離婚。\*詩風も変化。「真珠抄」刊。詩集「白金之独楽」刊。

民本主義・・・1916＝31歳：弟と阿蘭陀書房を創立し(ARS)創刊。「わすれなぐさ」、歌集「雲母集」刊。

ロシア革命・1917＝32歳：江口章子と結婚。この頃、窮乏を極める。\*「白秋小品」刊。紫煙草舎を設立して(烟草の花)創刊。弟がアルス設立。

本格政党内閣1918＝33歳：鈴木三重吉の児童文学雑誌(赤い鳥)の創刊に協力、創作童謡・民謡に新紀元を画す。'雨'赤い鳥小鳥'

ベルサイユ条約・1919＝34歳：小説二点で窮乏を脱する。\*歌集「木馬集」、最初の童謡集「とんぼの眼玉」刊。'あわて床屋'

大暴落・・・1920＝35歳：章子と離婚。\*「雀の生活」「白秋詩集I」刊。

原敬首相暗殺1921＝36歳：佐藤菊子と結婚。\*歌集「雀の卵」、「兎の電報」「童心」「洗心雑話」「まざあ・ぐうす」刊。'揺籃のうた'

水平社結成・1922＝37歳：長男誕生。\*「日本の笛」「祭の笛」「観相の秋」「羊とむじな」刊。山田耕作と「詩と音楽」創刊。'砂山'

関東大震災・1923＝38歳：\*詩が溢れでる。「水墨集」「花咲爺さん」刊。

護憲三派圧勝1924＝39歳：\*短歌雑誌(日光)を創刊。'からたちの花'

治安維持法・1925＝40歳：長女誕生。\*「季節の窓」「子供の村」刊。'かえろかえろと''ベチカ''待ちぼうけ''アメフリ'

円本時代始・1926＝41歳：\*詩誌(近代風景)を創刊。「二重虹」「からたちの花」「風景は動く」「象の子」刊。'この道'

金融恐慌・・・1927＝42歳：\*「芸術の円光」刊。弟が起したアルスの「日本児童文庫」のため闘う。

共産党事件・1928＝43歳：詩人協会設立。

世界恐慌・・・1929＝44歳：\*詩集「海豹と雲」で日本古神道の精神とリズムをとらえるに至る。「緑の触角」「月と胡桃」刊。アルスから「白秋全集」刊行開始。

海軍軍縮条約1930＝45歳：

満州事変・・・1931＝46歳：「白秋地方民謡集」刊。

国際連盟脱退1933＝48歳：「全貌」刊。\*「赤い鳥」と絶縁。

帝人疑獄事件1934＝49歳：歌集「白南風」刊。

芥川直木賞始1935＝50歳：\*多磨短歌会を興し(多磨)を創刊、「近代の幽玄体」の樹立に尽くした。

日中戦争始・1937＝52歳：「新万葉集」の選歌に没頭して眼疾におかされるも、

薄明のうちに詩作をつづけ、

第二次大戦始1939＝54歳：歌集「夢殿」刊。

大政翼賛会・1940＝55歳：歌集「黒檜」、詩集「新頌」刊。

日米開戦・・・1941＝56歳：「白秋詩歌集」刊。\*福岡日々新聞文化賞。芸術院会員。

・・・・・・1942＝57歳：歌論「短歌の書」刊。糖尿病の悪化の中で、童謡集3冊を刊行。「日本伝承童謡集成」を企画。歌集「溪流」「椽」を編集した後、\*没した。